

(2) 知的障害

知的障害者の雇用上の課題について72.7%が「ある」としている。課題とされているのは、「会社内に適当な仕事があるか」が68.1%と最も高くなっており、「職場の安全面の配慮が適切にできるか」が38.7%と次いで高くなっている。身体障害者の場合と異なり、本人の労働意欲面や社内の理解についてを課題としている割合が高くなっている。

図4-6 知的障害者を雇用する上での課題（複数回答：3つまで） (%)

	20	40	60	80
雇用上の課題「ある」				72.7
労働意欲・作業態度に不安		28.0		
社内における障害についての理解・知識が得られるか		24.2		
採用時に適性、能力を十分把握できるか		28.4		
会社内に適当な仕事があるか				68.1
給与の設定をどうするか	6.0			
通勤上の配慮が要らないか		10.8		
採用後の処遇をどうするか	6.0			
職場定着上の問題について外部の支援を得られるか	3.1			
設備・施設の改善をどうしたらよいか	8.1			
職場での援助者が要らないか		22.4		
職場の安全面の配慮が適切にできるか			38.7	
仕事以外の生活面等の問題への対応は要らないか	7.9			
作業能力低下時にどうしたら良いのか		12.8		
雇用継続困難な場合の受け皿があるか		14.8		
その他	1.6			

(「課題がある」とする事業所=100)